

<p style="text-align: center;">仙台市環境影響評価審査会 議事録（要旨）</p> <p> ■日 時 平成22年10月27日(水) 午前10時～12時00分 ■場 所 小田急仙台ビル4階 会議室2 ■出席委員 江成委員 持田委員 境田委員 鶴見委員 永幡委員 西田委員 溝田委員 安井委員 山本委員 ■欠席委員 風間委員 武山委員 平吹委員 宮原委員 横山委員 ■事務局 川辺参事兼環境企画課長 石井環境対策課長 （環境都市推進課環境調整係） </p>	
■ 事業者 1	仙台市新墓園建設事業（第2期） 事業者
■ 事業者 2	（仮称）仙台市富沢駅西土地地区画整理事業 事業者
事務局	<p>【次第1 開会】</p> <p>・ 審査会成立報告</p>
事務局	<p>【次第2 資料確認】</p> <p>・ 資料確認</p> <p>次第3 審議（2）について、動物・植物・生態系の審議には希少な動植物の生息場所に関する情報が含まれるため、公開・非公開についての審議もお願いする。</p>
江成会長	<p>【次第3 審議】</p> <p style="text-align: center;">《公開・非公開の確認》</p> <p>原則公開。ただし、個人のプライバシー及び希少な動植物の生息場所に関する事項があれば非公開とする。</p> <p style="text-align: center;">→（各委員了承）</p> <p>事務局から、次第3 審議（2）のうち、動物・植物・生態系については非公開にしたいとの提案があった。非公開とすることによろしいか。</p> <p style="text-align: center;">→（各委員了承）</p> <p style="text-align: center;">《署名委員の確認》</p> <p>議事録署名委員 溝田委員に依頼</p> <p style="text-align: center;">→（溝田委員了承）</p>
江成会長	<p>それでは審議に入る。</p> <p>「仙台市新墓園建設事業（第2期）準備書」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料1－1について事業者から説明する。その後、資料1－2について事務局から説明する。</p>
事業者	<p>（資料1－1について説明）</p>
事務局	<p>（資料1－2について説明）</p>

江成会長	<p>それでは、ただいま説明された答申案について、ご意見ご質問をお願いします。</p>
持田副会長 事業者	<p>(道路騒音は) なぜ22時まで測定しなかったのか。</p> <p>方法書の審議の過程で、墓園の利用が想定される昼間の測定をするとしており、何も意見がつかなかったもので、そのまま測定をした。測定終了時間の18時というのは盆・彼岸は17時30分、その他の時期は16時30分という墓園の閉園時間を考慮し、18時以降の時間については影響ないだろうということで測定した。</p>
持田副会長 事業者	<p>(昼間基準に照らしての測定の終了時間は) 22時なのに対して、(測定時間の) 終わりが18時なのは、墓園の終了時間に関係しているのか。</p> <p>そのとおりである。</p>
持田副会長	<p>全体事項1は、騒音に関する話なのに一番最初に持ってくる必要があるのか。</p> <p>工区を二つに分けて、一つ目の工事で得られた知見を二つ目に生かせということの方がジェネラルな話である。全体事項の1が例えばこの騒音レベルのように分かりにくいことが多くあるので、他のこともきちんと書けということならここだと思うが。もし(騒音の) このことだけを言うのであれば、個別事項ではないかと思う。</p>
事務局 (環境調整係長)	<p>全体事項の(1)は、副会長がおっしゃるように、わかりやすい表現で全体的に記載してもらいたいという意味合いで全体事項に記載したものである。わかりやすい表現にすべき部分を具体例を示すための部分についての説明文が長過ぎた。目的はわかりやすい表現で記載するよう求めたいということなので、全体事項に位置づけた。</p>
安井委員	<p>この(1)は理解不能なので、文章を半分ぐらいに短くするとか、二つで割るとか、三つにするということは不可能なのか。</p>
永幡委員	<p>例えば(3)のように、わかりやすい表現にしてくれとし、特に次の内容は云々、①騒音の話、振動のところも同じようなことが書いてあるので②振動、などというふうにした方が良くと思う。</p>
江成会長	<p>今のご意見は参考になると思う。「など」より後半部分の「環境影響評価準備書の記載から内容を読み取ることが難しい部分については・・・、求めるべきである」とし、(例として) 墓園の開園時間を踏まえた測定時間とした現況騒音測定値について基準がないので環境基準と比較したことを入れる。もう少し具体的な例があれば入れてもいいと思う。例えばということで一つ入れておけばいいかとも思うが。</p>

西田委員	その他の（１０）だけが「望ましい」で、その他はすべて「べきである」となっており、若干求めるレベルが違う書きぶりだが、一つだけ結びが違っていると、ここは緩くて良いように見えてしまう。整理学として検討すべきである。わざとしないのか、できないのか、どちらか。
事業者１	既に実施設計を発注し、コンサルタントが動いている最中であり、既に放送設備に関しては見直しをかけ、極力緊急時以外は小音量で皆さんにご連絡できるように組みかえを行っているので、事業者としては、求めるべきとなっても対応可能である。
江成会長 事務局 （環境調整係長）	何か手続的なところで違いをつけた方がいいというところはあるのか。 影響の度合いということを考慮し、例えば道路の交通騒音であればかなりの時間帯で影響があるが、先ほど事業者からあったとおりとおり、影響がある時間が制限されるので、その意味合いで一段下げて、望ましいという形にした。また、先ほど事業者からの説明があったとおり、配慮ができないというわけではないので、その影響の度合いを考えて一段下げた。
江成会長 持田副会長	ということだが、いかがか。 「望ましい」と書いてあるのが無視されたら、その後どうなるのか。「べきである」と書いたことをやらなければ問題だが、「望ましい」と書いて、すみません、できませんでしたと言われたらそうですかということになるのか。
江成会長	言葉としてはそういうニュアンスではないか。 影響の大きい小さいということは、確かに使用頻度などを考えると出てくるとは思うが、一般論としては影響が大きい小さいというのは、なかなか判断が難しいところがある。そういったことから考えると、必ずしも区別しなくても良いのではないかという気はするが。
事務局 （環境調整係長）	事務局として一段下げた形で提案したが、先ほどの事業者からの説明にあるとおり配慮できないというものではないということ、影響の度合いはなかなか判断しにくいということから、同じく「求めるべき」という形でもよいかと考える。

江成会長	<p>それでは、その方向で修正するというにすることにする。</p> <p>ほかにはいかが。</p> <p>それでは、全体的事項の（１）については、文章を組みかえるという対応とする。それを踏まえて作った新しい案の最終的な文面の調整については、私と持田副会長にお任せいただくということでよろしいか。</p> <p>→（各委員了承）</p> <p>それではそのようにさせていただく。</p> <p>なお、答申案に対して追加の意見があれば、後ほど事務局までお願いしたい。</p>
事務局 （環境調整係長）	<p>（事務連絡）</p> <p>審議事項（２）については途中で非公開となることから、ここで一度事務連絡を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議案件についての質問・ご意見は、１１月１日（月）夕方５時までに事務局まで ・審議スケジュールの確認
江成会長	<p>続いて、「（仮称）富沢駅西土地地区画整理事業方法書」の審議に入る。</p> <p>先ほど、決議したとおり、動物・植物・生態系についての審議は非公開とするので、まずは、動物・植物・生態系以外の審議を行う。</p> <p>それでは、説明をお願いします。</p>
事務局 （環境調整係長）	<p>資料２－１，２－２について事業者から説明をする。</p>
事業者２	<p>（資料２－１，２－２について説明）</p>
江成会長	<p>ただいまの説明を受け、動物・植物・生態系以外のことについてご質問ご意見をお願いします。</p>
境田委員	<p>大気質について、地点を新たに三つ増やしているが、私の認識としてはここは川沿いであり、川を遡上する風が吹きやすく、海風が東南東の方から入ってくる場所である。大気質あるいは粉じんも含めてかもしれないが、北西の方にポイントがあるといいと思う。先ほどからどこか適当なものがないかと探していたが、北西側にもう一点、どこか適当なところを設定できないか。</p>
事業者２	<p>風向の模様を見て北西側の方に予測地点を設置すべきではないかというご指摘だったと思うが、検討して設置の方向で進めたい。</p>
江成会長	<p>今のご意見は方向とあわせて、なるべく笹川に近いところの方がいいということか。</p>
境田委員	<p>そうである。かなり卓越風があり、しかも割合と大きな施設があるので。</p>

<p>鶴見委員</p> <p>事務局（環境調整係長）</p> <p>区画整理課</p>	<p>仙台市の都市計画とあわせたとき、この富沢地区の土地区画整理事業はどういった位置づけになるのか。</p> <p>区画整理課から説明する。</p> <p>資料２－１，１ページ １． １） １ にも示しているが，宮城県で策定している「仙塩広域都市計画区域の整備，開発及び保全の方針」で，現在，市街化区域編入予定地区，保留地区ということに位置づけられている。今後，アセス関係や，市街化区域編入に向けた同意などの手続き，事業に適すかどうかなど，もろもろの条件があるが，これらをクリアすることにより，市街化区域編入手続を進める。</p>
<p>江成会長</p> <p>区画整理課</p> <p>安井委員</p>	<p>編入手続は，２５年度，２６年度ともう少し先になる。事業の熟度が煮詰まった段階で検討し，市街化区域編入という形になると思う。編入後に組合の設立に向けた手続を進め，その後組合設立，そして区画整理の事業という流れである。</p> <p>この地域が保留地区になっているという，そういうことでいいか。</p> <p>そのとおりである。</p> <p>先日の指摘を受けて，資料２－２の５７ページに屋敷林等位置図があり，土地利用計画と現況が書いてある。これを見ると現況のもの（屋敷林）は全部なくなってしまうのであろうと予測される。私が意見を言う分野から言えば，鳥も，植物も大事で，それらはきちんと移植（移殖）するのに，屋敷林は移植もせず壊してしまうという位置づけが，卑近な言葉を使えばこひいきであるような気がしてならない。例えば，地下鉄東西線事業ではオオタカには巣をつくってあげている。ここにも多分ハヤブサやフクロウなど，それからそれなりの動物たちが暮らしていると思うが，それが多分この状態であれば重なっているところは皆道路になってしまったりということになる。（東西線事業は）大変規模が大きいというのはあると思うが，そういう考え方として当審査会では，どのように扱うべきものなのか。</p> <p>全部が大事であり，すべてが環境に何か及ぼすのか。公園と重なっているのが１個か２個ぐらいあるが，これも植物は残るかもしれないが屋敷はなくなるのではないか。これでは全滅かと思う。</p> <p>これについて，どうしろということはお金の問題などがあり，なかなかこちらからは言いがたい。土地を区画して売るという行為で区画整理組合ができていることは十分承知しており，そういう事業の中で，前の計画（仙台市荒井東土地区画整理事業）のときは幸いにして道路の形を変更してもらった。そういうことであれば何か違う方法が考えられないのであろうかと思う。経済と文化や環境とをどう天秤にかけるかが問題ではないかと思う。</p>

江成会長	<p>今の問題は、荒井駅東土地区画整理事業のときにも議論が出たが、いかかがか。</p>
安井委員 事業者 2	<p>動植物の棲家ともやや関係があるのではないかと思う。</p> <p>事業者の見解を説明する。</p> <p>居久根の保存全般に係る指摘をいただいた。生態系に関する部分については後ほど非公開の部分で報告をしたいと思う。</p> <p>全般的な保全に関する考え方は、資料 2-1 7 ページ 15. 景観・文化財に、指摘の部分の対応方針を記述している。基本的にこの居久根の所有者は換地を受けた地権者ということになるので、固有の財産を所有する地権者に委ねられるのが一つの原則である。また、居久根はスギの植林が主体となっており樹高も高いということで、仮に残された場合にこの周辺の日照などの影響などもあるのではないかということも考えている。こういったことや土地利用計画全般の状況などを総合的に踏まえ、今後も検討を進めてまいりたいと考えている。</p>
江成会長 安井委員	<p>スギの植林が多いというのは、この地域の居久根の特徴ということか。</p> <p>大体はスギである。北風を防ぐには樹木が必要であり、常緑広葉樹は、なかなか寒い地方ではないと思う。ときどきケヤキがあることもある。資料 2-2, 58 ページの②などはケヤキが生えていると思われる。それからスギと竹は仲がいいので、大体スギ林の中に竹も一緒になって生えていることが多い。④なども左側に竹が見えるのではないか。あとは⑤。結構竹林が多い。</p>
持田副会長	<p>先ほど都市計画の中の位置づけの質問があったが、仙台の人口が減っていった、これから市街化調整区域を開発するということはもうほとんどないのかと思っていたが、この地域は保留地区ということで、新たに開発をかけようという場所だということか。その話と、資料 2-1, 1 ページ, 1 番の都市計画についての対応方針, 4 番の現在進行中のいろいろな既存計画の改訂の中でのこの場所の位置づけ、それから 2 ページ目の 1 番のそれに基づく (1) にある供用後の事業地のありようがあり、そこに新たに商業地区やまちを作るなら、やはり居久根があつては邪魔ということか。要するに仙台はもう新たに広がっていくのはだめだから、公共交通網の近くに拠点を再整備して、そこはまちにするが、そこをまちにするかわりに周りを守るとのことならば、ここの居久根は仕方がないという気もする。なので、もう少し全体の広いフレームの中でこの場所について議論が必要ではないか。これからは、新たに開発をしないというときに新たに開発をする場所なので、どういう考えでこれをやるという話をきちんとする必要があると思う。そこで、私が資料 2-1 1 ページ 4 番を質問し、いろいろ資料をつくっていただき、資料 2-2, 4 ページ目からずっと説明をしていただいて、8 ページ目</p>

<p>事業者 2</p>	<p>に開発事業等における段階別の配慮の指針，9 ページ目に本開発の各地区のエリアの供用後のイメージが書かれている。この 8 ページ目から 9 ページ目の関係，こういう配慮の指針があるから我々はこういうふうの開発するんだという説明が最初に必要なだったと思う。それが無くて，いきなり各論に飛んでしまったので，例えば居久根が象徴的な判断基準になるのだと思う。どういう考えでここを開発するのかという話が必要ではないかと思う。いろんな都市計画や，今の基本計画のサーベイに基づいて 9 ページ目があるという形で，まず方針をお話いただく必要があると思う。</p> <p>上位計画や，関連計画における仙台市全体，エリアごとのさまざまな土地利用の方針があり，その中には保全すべき要素の考えられる居久根のあり方や，事業を計画していこうとする事業者側が押さえておかなければいけない方針など，それらを踏まえた上での，この 9 ページの供用後のイメージがあるというような経過の説明が不足していたという指摘だと思う。あるいはその辺の資料も不足していたのではないかと思うが，個別の対応としてそれぞれ示したので，その辺のつながりがこの資料の中では弱かった部分があるかもしれない。事業者としては，例えば 8 ページに示した内容の，これは杜の都の環境プラン(改訂版 中間案)の配慮指針などについて記述しているが，こういった事業ごと，段階ごとにこういうことを留意しながらまちづくりを進めるという計画が示されているので，その辺を十分に事業計画に反映しながら，このまちづくり全般の計画を立てていきたいと考えている。</p> <p>また，9 ページの各項目については，土地利用のイメージを補完するような意味合いの説明事項となっている。そういった前段の内容等についても十分認識しながら事業の推進に入って行きたいと考えている。</p> <p>なお，今，関連計画と個別の事業計画における土地利用の考え方を断片的に示しているが，この間にこういったことを踏まえてどのように反映させていくかということなどについて，資料を追加させていただきたいと思う。</p>
<p>境田委員</p>	<p>私も屋敷林に関心がある。昔は，割合たき火や，いろいろな薪炭材に使って利用しながら保全されていたと思う。多分今はほったらかしではないかと思う。先ほど日照権のお話があったが，既存の屋敷林を見て，影になって邪魔だということではなく，管理も含めて保全していくことがやはり必要なんだと思う。その辺について少し知恵を出し，景観として利用する方向で折り合いをつけていただきたいと思う。</p>

永幡委員	<p>教えていただきたいが、日照権のような問題というのは、先に建物があって、その後に高いビルを建てるとか、要するにどちらが先かという議論が出てくる議論ではないのか。だから、先に林があったら、その後に入ってくる人の日照権などというのは逆であり、おかしいのではないかと思う。その辺はどう考えるのか。</p>
事務局（環境調整係長）	<p>基本的には永幡委員のご意見のような形で、やはり日照権については先に建物があるという形であれば、それをベンチマークとして権利が発生するという形になるので、例えば建物があって新しく建物が建ったものに関しては日照権というものが出てくるが、その逆ということに関しては、なかなか先にあるので権利としては主張しにくいという状況になると思う。</p>
事業者 2	<p>日照権に関するご意見だったが、日照などの影響が考えられるという記述であり、後先の話は余り考えずにここは記述した。</p> <p>また、居久根全般が公園計画と重複するエリアで、公園計画を居久根の出入口の現状を取り囲んだように配置している箇所もあるが、これは公園として整備する上で、区画整理事業としての公園の提供、あるいは公園の管理の仕方などいろいろ管理者との協議なども発生する部分があり、その辺まで見越して、総合的に検討したいと考えている。</p>
安井委員	<p>基本的に 5 7 ページの計画図を見れば、最初から居久根はすべて無視しているという計画ではないか。所有者がおいでになることであり、この辺が富沢の車両基地になった時点から、「もうおれたちは居久根はいらないから土地を売ってもっと違う生活がしたいよ」そのような傾向になっているのであろうと思うが、そうすると今ここでこの環境影響評価審査会なり、もっと前段の都市計画だとか、この間配布された「杜の都環境プラン[改訂版]中間案」など仙台市の環境全般に関するああいうものとのつながりはどうなるのか。というのは、その前の方で調べてここに書いたということだが、とても矛盾することになってしまうのではないかと思う。それはもうここまでできてしまったから、ここで何か意見を言っても同じ、ということで仕方がないが。居久根を持っているお屋敷というのは、大体明治、あるいは江戸に遡るかもしれないが、上級の農家なり、地主層なりというようなことで、この周りの田んぼがみなご自分のものだったのではないかと思う。時代の流れによって形ある物が無くなるのは世の常であるが、こんなに（居久根が）あるのであれば、最初の段階で何らかの検討があるべきだったのではないかと思う。このような意見を述べる方が誰もいないような会しか通ってこなかったのだろうか。</p>

事業者 2	委員ご指摘の居久根全般に関してだが、資料 2-2, 57 ページに屋敷林等についてということで図を作成している。全体的には 9 カ所あったが、民家と一体となっていていわゆる居久根的な存在というのは 1 と 4 と 9 の 3 カ所だろうと認識している。その他については、ある程度樹林がまとまった箇所という意味合いで樹林地というとならえ方をしている。
江成会長	それは、実際に民家が残っているのがそこという意味か。
事業者 2	そのとおりである。
事業者 2	先ほどから居久根について先生がずいぶん質問しているが、先生の方で考えている居久根の解釈を教えて欲しい。どういったものを居久根というのか。私たちが考えている居久根の解釈と違うのか。
安井委員	屋敷林といって自分の屋敷があり、その防風などのために植林をし、スギや竹、それからあるいは自分の家で食べたいと思うようなカキなどという場合もあるが、そういうものが生えているという状態である。大体は北西風を防ぎたいとするならば北側と西側に 2 方向だったり、それから特殊な風が吹く場合は南側にあたりする。日本全国でいろいろどっち向きというわけではない。
事業者 2	そうすると、富沢は昔から農家がほとんどだったので、ほとんどの農家で家の北西方向に大体スギを植えたり、自然にケヤキなどもどこからか飛んできて芽を吹いて成長した木などがあり、屋敷の隣との境界や堀などに植えたのが居久根のような形に、何十年、何百年の間に成長して大きくなったのがほとんどである。
安井委員	それが日本の農村としての景観としての特徴である。それを長喜城など、きちんと認識して残そうと言っている地域もあれば、そんなものは何ともないと思っている地域もある。私が関東平野に行って仕事をしたときも、どんどん開発が進み、もう居久根はうちと隣と隣しなくなってしまった、という、そういう生態系自身もすべて切れてしまうというようなことがあった。今、失うことは、ただ木がなくなるということではない。お孫さんやひ孫さんなどの時代に何が起こるか、私たちはわからずにみんな今までやってきたが、それが良くないということに気づいて、このような会ができたのではないかなと思っている。何が起こると私は言えないが、なくなってしまった景観、多分江戸や明治から生えている木、スギなんか切ってみると大体 100 年とか 150 年であるが、それで、例えば居久根の木を切って家を建てたりすると、「ああ、あそこはもう終わりだな」みたいに言われるから居久根は切れないとか、そういうような規範を持って守っている方もいる。あれを切ってしまったら風が当たって自分の家に不都合が起こる。日が当たらなかったり、雪が解けなかったりということもあるが、風から守れないとか、屋敷

事業者 2	<p>の形態として美しく自分のうちがあるのだということだと思う。それを捨てて土地を売ろうというその考えももちろん認められると思うが、今我々の立場であれば、これを何とか自然の景観とか、そういうものを生かしながらのまちづくりができないものかということ、ここで審査しているので時期は遅いかもしれないけれども、言うべきではないか。</p> <p>地元では居久根という解釈がどこまであるのかというのが本音である。スギの木が2列くらいに生えて、明治かその辺に植えたものが太くなったというだけの話である。畑の周りにぐるっと植えている農家もあるが。</p>
安井委員 事業者 2	<p>ここにある写真の分はあるのではないか。</p> <p>地元でここは居久根かなと思うようなところは、我々からみれば1カ所かそんなものしか、思い浮かばない。</p>
安井委員	<p>その居久根というのが屋敷と一緒にいるのが1と9と4だという説明を今受けたがちがうのか。居久根かどうかは分からないが、示された樹林地すべてを普通の宅地として切ってしまうなければいけない計画になっていないか。</p>
事業者 2	<p>植えてすぐ成長しやすいということから9割以上がスギの木である。枯れ葉を燃料にして燃やして御飯を炊いたり、そういう時代があった。今は逆にスギの枯れ枝が飛んで世間に迷惑をかけるという時代になったので、やはり結構切っている人も多い。</p>
安井委員	<p>私的所有権のあるものなので、こちらも強制的に言えない。だからどこにその価値観を置くかだけの話である。</p>
江成会長	<p>前段での本来もう少し議論が必要だったというようなこともあるが、ここはやはり環境影響評価審査会なので、現在の居久根と呼ばれる部分が環境に対してどういう影響を与えているのか、あるいはどういう役割を担っているのかということ踏まえながら、どういう工夫ができるか、どういう工夫をお願いしたいかという議論をすることがまずは必要かと思う。</p> <p>そこで、動物・植物・生態系との係りが出てくると思うので、この辺でそちらの方の議論に進みたい。</p> <p>しかし、その前に事前にいただいている意見について事務局からお願いする。</p>
事務局	<p>(資料として配布)</p>
事業者 2	<p>事前意見の項目に対し、方針を口頭でご説明する。</p> <p>まず、1点目の供用後の事業地の状況におけるまちの構想が明確でないという指摘であるが、これは先ほどの意見にもあったとおり、さまざまな仙台市の計画の中で事業地が置かれている位置づけや、それを含めてどのようなコンセプトでまちづくりをしていくのかという全般的な意見と認識してお</p>

り、今日のご意見を踏まえ更に対応していきたいと考えている。

1 番の中ほどにある、「事業工程によると基本設計進行中と思われる」という中で、この辺の状況を説明して欲しいということについては、現在、土地利用の配置やさまざまな施設の配置など基本計画を作成しており、その後設計を進めていくということになる。こういったレイアウトは来年の5月ぐらいまでに固めていきたいと考えている。また、基本設計は平成24年度内に着手をしたいと考えている。

1 番目の下の方にある自然環境の保全、触れ合いに関する三つの項目については、こういった項目に関しては配置計画の中でさまざまな機関との協議が必要となるので、そういったものを踏まえながら検討を進めて行きたい。準備書作成時までにはこの辺の基本的な考え方をまとめ上げたいと考えている。

指摘の2点目、資料2-2の土地利用現況図等の出典については、環境省の平成14年度の自然環境基礎調査をもとに現地調査を行い、平成22年8月時点で作成しているものである。

指摘の3点目、河川、水路等の現況図に関する資料2-2の12ページの図の作成意図は、現状の河川、用排水路と将来の既存の排水路を受ける水路がどうなのかというかわりを示した図であるので、この図の中には、将来の土地利用における調整池の絵姿などの描写はない。ここを補足すると、事業区域の西側から東側に沿って流れてくる水路については、この緑のラインに示した暗渠で集水をし、そのまま下流側に排水をするということである。

4点目の資料2-2の36ページにある水象に関する指摘の、調整池や、暗渠でない水路についての項目はどう考えるのかということについては、調整池は降雨時に雨水を一時的に貯留して水量を調整して下流へ放流する施設であり、常時水がたまっているわけではないので、水辺環境としての予測評価の調査の対象としてはいないということである。また、すべての水路は道路の下に埋設される暗渠なので、予測評価の対象としていない。

5点目の指摘である、水田が有する保水機能について水象で評価するとあるが、どういうことか説明願いたいということについては、水田が有する保水機能については、水象に示した流域の中に土地利用の一つとして水田を含むということにしている。

6点目の複数の選定項目において予測の前提条件として事業計画から把握をするということだが、この事業計画の進捗状況を説明されたいという指摘については、この事業計画から把握というのは工事概要計画を指すものであり、平成23年度早期にこういった整理をし、予測評価につなげていきたいと考えている。

江成会長	<p>それでは、時間の関係もあるので、これについてもし質問や意見等があれば後で一括して受けることにし、先に動物・植物・生態系の議論に入りたい。</p>
	<p>《傍聴者等退出 以後非公開》</p>
事務局	<p>【次第 6 閉会】</p> <p>《審査会終了》</p>

平成 年 月 日

仙台市環境影響評価審査会会長

氏名 印

仙台市環境影響評価審査会委員

氏名 印